

令和3年7月27日

報道各位

熱海市議会事務局

熱海 未来創造部・伊豆山災害支援チームによる
伊豆山地区の子どもたちへ応援リュックサックプレゼント(贈呈)について

平素は議会運営にご協力をいただき感謝申し上げます。

このたび、地元熱海市で介護ケアタクシーを営む河瀬愛美様と熱海市で災害支援活動を行う「熱海 未来創造部・伊豆山災害支援チーム」の皆様より、Jリーグ川崎フロンターレの長谷川竜也選手、Y.S.C.C.横浜の大城蛍選手と西山峻太選手、解脱会様から寄贈されたリュックサックに、全国各地から寄せられた応援グッズを詰めて、被災された伊豆山地区の子どもたちへプレゼントを贈呈していただくこととなりましたのでお知らせいたします。

つきましては報道方ご協力お願いいたします。

記

1. 日時 令和3年7月28日(水) 14時から
2. 場所 熱海市役所 第3庁舎 議長応接室
3. 出席者 贈呈者－ 株式会社 伊豆おはな 河瀬愛美 様
受贈者－ 新村教育長
教育委員会を通して伊豆山地区の
子どもたちへお渡しします

※ 詳細につきましては別紙をご参照ください。

お問合せ先

熱海市議会事務局 古株

☎ 0557-86-6641

(熱海伊豆山土砂災害支援)

こどもたちへ応援リュックサックプレゼント

2021年7月26日

このたびの熱海伊豆山土砂災害により、お亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りし、哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

今回、地元熱海市で介護ケアタクシーを営む河瀬愛美さん、同じく熱海市で災害支援活動を行う「熱海 未来創造部・伊豆山災害支援チーム」とその仲間たちは、Jリーグ川崎フロンターレの長谷川竜也選手、Y.S.C.C.横浜の大城崋選手と西山峻太選手、解脱会から寄贈されたリュックサックに、全国各地から寄せられた応援グッズを詰めて、被災された伊豆山地区のこどもたちへプレゼントを贈らせていただくこととなりましたのでお知らせいたします。

背景

本取り組みの発起人である河瀬愛美さんは、熱海市で介護ケアタクシー（株式会社伊豆おはな）を営むとともに、全国訪問ボランティアナースの会（キャンナス）の熱海代表も務めています。今回の災害では河瀬さんの事務所が罹災し、河瀬さんご自身も被災者のお一人でもあります。河瀬さんは、発災後、ご自身が避難生活を送る中で、知り合いの方からご提供いただいた支援グッズ一式が大変便利でありがたかったという経験をしました。

「準備が簡易な食糧品やすぐに必要な備品・衣類が、移動に便利でいざとなったら背負って逃げるができるリュックサックに入っていたら、助かる方・喜ぶ方がたくさんいるのではないか」という河瀬さんの言葉が、河瀬さんとつながりのある「キャンナス」の菅原由美代表、さらには菅原代表と親交のある特定非営利活動法人ジャパンハート（東京都台東区、理事長 吉岡春菜。以下、ジャパンハート）を通じて、元Jリーガーの安彦考真さんに届き、川崎フロンターレの長谷川竜也選手、Y.S.C.C.横浜の大城崋選手と西山峻太選手から計 300 個のリュックをご支援いただけるという動きにつながりました。

長谷川選手は静岡県沼津市出身で、今回の災害で何かできることはないかと考えていた中で、ジャパンハートの活動を通して支援ができるとわかりリュックサックを届けてくださいました。また、ジャパンハートを普段から支援している解脱会からもリュックを 100 個ご支援いただきました。

いただいたリュックサックを被災地に届けるにあたり、その方法について河瀬さんから相談を受けた「熱海未来創造部・伊豆山災害支援チーム」は、河瀬さんと相談し、まずは被災地のこどもたちにこのリュックサックを届けることを決めました。夏休みを迎える前に今回のつらい出来事に遭い、学校生活はもちろん、今なお、お友達と遊んだり、通常の生活を送ることが難しい環境を強いられている伊豆山地区のこどもたちに、少しでも元気になってほしい、見守っている大人たちがいることを知ってほしいという河瀬さんの思いが込められています。

さらに支援チームでは、つながりのある企業・団体様にお声掛けさせていただき、子どもたちへの食糧・衣料・生活用品の数々をご提供いただくことが叶いました。ご賛同いただきました皆様には深くお礼申し上げます。

約 1 週間という短い準備期間にもかかわらず、たくさんの方にご協力いただき、思いがつながってできたこのリュックサックの贈り物が、子どもたちの元気につながることを心から願っています。

贈り物の内容

★園児の皆さん、小学生の皆さんには 1 番のリュックサックに、中学生の皆さんには 2 番のリュックサックに贈り物を入れています

	園児の皆さんへ (31 名)	小学生の皆さんへ (54 名)	中学生の皆さんへ (31 名)	支援者様
1	リュックサック	リュックサック	リュックサック	長谷川竜也選手 大城圭選手 西山峻太選手
2	—	—	リュックサック (大)	ジャパンハートを通し て解脱会様より
3	ショルダーバッグ	ショルダーバッグ	ショルダーバッグ	株式会社ゴールドウ イン様
4	マフラータオル	マフラータオル	マフラータオル	ジャパンハートを通し て JS ファウンデーション 様より
5	タオルハンカチ	タオルハンカチ	タオルハンカチ	TAKATA-FESTA 様
6	ポストカード 四色ボールペン	ポストカード 四色ボールペン	ポストカード 四色ボールペン	水中写真家・水之 京子様
7	サントリー天然水	サントリー天然水	サントリー天然水	サントリーホールディ ングス株式会社様
8	えいようかん チョコえいようかん	えいようかん チョコえいようかん	えいようかん チョコえいようかん	井村屋株式会社様
9	はちみつ塩飴 はちみつ黒糖くるみ 泡ハンドソープ 基礎化粧品ミニセット	はちみつ塩飴 はちみつ黒糖くるみ 泡ハンドソープ 基礎化粧品ミニセット	—	株式会社山田養蜂 場様

10	文房具セット 水筒	文房具セット 水筒	—	smile 熱海こども食 堂様、おたまちゃん 食堂様
11	—	歯ブラシ 除菌シート 災害時のケア情報冊子	歯ブラシ 除菌シート 災害時のケア情報冊子	ライオン株式会社様
12	バスタオル	—	—	ジャパンハートを通し て JS ファウンデーショ ン様より

支援にかかわった主なメンバー・団体

株式会社伊豆おはな 河瀬愛美 <https://izuohana.com/>

熱海に移住し、夫婦で介護タクシー等事業を運営。看護師の資格を活かし、全国訪問ボランティアナースの会 キャンナスの 81 か所目となるキャンナス熱海代表。熱海市伊豆山の災害で多くの皆様からご支援、ご協力いただけたことで、このプロジェクトを実現することができ、これからも皆様にご協力頂きながら自分たちのデキルことを考えて活動していきたいと思っている。

特定非営利活動法人ジャパンハート <https://www.japanheart.org/>

2004 年「日本発祥の国際医療 N G O」として、創設者・吉岡秀人（小児外科医）が、自身の長年の海外医療の経験をもとに、医療支援活動のさらなる質の向上を目指して設立。多くの医療者やボランティアが参加している。

全国訪問ボランティアナースの会（キャンナス） <https://nurse.jp/>

地域に住んでいる看護師が忙しいご家族に代わり、介護のお手伝いをする訪問ボランティアナースの会。全国各地で発災する災害で支援活動にかかわっている。

熱海 未来創造部・伊豆山災害支援チーム（事務局 株式会社未来創造部）

<https://www.facebook.com/groups/539592647069642>

発災後、支援を必要とされる方と支援いただく方や組織との情報をつなぐ場として立ち上げた支援チーム。事務局をつとめる熱海・未来創造部と仲間たちは、熱海の現状を私たちにできる範囲で皆様に伝え、できるだけ細やかに今できる支援活動に取り組んでいる。地元で定期的にミーティングを重ねるとともに、企業や他団体とのつながりをいかして、中長期的に復旧・復興、地区の暮らしと経済とにぎわいを取り戻すことをめざしている。

支援者からのメッセージ（別紙）

お問い合わせ

熱海 未来創造部・伊豆山災害支援チーム

（事務局 株式会社未来創造部）

静岡県熱海市渚町 7-5 エムズ熱海ビル

電話：0557-48-7898

メール：info@mirai-sozo.work

川崎フロンターレ
長谷川竜也 (はせがわたつや) 選手



この度、土砂災害によって熱海が大きな被害を受けたとニュースやSNSで拝見しました。お亡くなりになられた方には、心からご冥福をお祈りいたします。そして、いまだに行方不明の方もいらっしゃいます。一日も早く見つかることを願っています。

私は静岡県沼津市出身です。熱海は非常に近く、子どものころから身近な場所であるのでとても心配でした。何か出来ることは無いだろうかと考えていた中で、ジャパンハートさんの活動を紹介していただきました。多くの方が支援活動に協力されていてらっしゃると伺っています。活動の際にバックが必要と伺い、私が日頃からサポートしていただいている美津濃株式会社様に相談をして、バックを届けさせていただくことになりました。

プロサッカー選手である自分に出来ることは、プレーで人に笑顔や元気をプレゼントすることだと考えています。また、困っている人や未来のある子どもたちをサポートすることも一人の人間として出来ることだと考えています。

熱海が元に戻るためにはまだまだ時間がかかると思います。被災した方々の生活、環境が一日でも早く元通りになることを願っています。

Y.S.C.C.横浜
大城 蛍 (おおしろけい) 選手



今回熱海の土砂災害をニュースで知り、実際に災害の映像を見てとても衝撃を受けました。

日本には多くの災害があり、自分にも何が起こるか分からない状況の中、他人事では無いなと思いました。自分に出来る出来ないかと考えていた時に、ジャパンハートさんの活動を知り支援する事決めました。実際に地元沖縄の首里城が燃えた時に僕は何もすることができず、心残りがありました。

スポーツ選手として沢山のの人に夢や希望を与える立場として、微力ではありますが日々変動する世の中に目を向け、行動に移していけたらと思います。

Y.S.C.C.横浜
西山 峻太 (にしやましゅんた) 選手



熱海市伊豆山地区で発生しました土砂災害により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。

このニュースや映像を見た時の衝撃は計り知れないほどショックでした。神奈川県出身ではありますが熱海市は観光地としても賑わい比較的近い土地柄という事で訪れた事も何度かあります。心を痛めていた中、知り合いを通じジャパンハートさんの活動や現在も必死に復興に向けての活動を現地で行っている方々への物資として必要なものを耳にし、アクションさせて頂きました。

サッカー選手としていま熱海市へ自分が出来る行動を精一杯し、とにかく被災地域の日も早い復旧と復興をお祈り申し上げると共に、元の活気や賑わいが戻ることを祈っています。

解脱会さまより

★被災された方々に向け、何も出来ずもどかしい思いでおりました中、ジャパンハート様が支援物資を送られる事を知り、このたび協力させていただきました。

被災地へ物資を送る事は mismatch が多く非常に難しいものですが、被災された方に真に寄り添えるジャパンハート様だからこそ、私たちも信頼し動く事ができました。

亡くなられた方々の無念、遺された方々の失望を思うとまだまだ足りない事ばかりですが、これからも被災された方々の心に寄り添い、私達に出来る事を一歩ずつ進めて行きたいと思えます。

★この度の熱海土砂災害により被災された皆様、ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

吉岡先生のご提案に協力をさせていただき、私たち解脱会青年本部で、微力ではありますが、物資などの輸送に使えるリュックサックを支援させていただきました。

まだ規制がかけられ、不自由な生活を強いられているかと思いますが、皆様の安全と一日でも早い復興を心よりお祈り申し上げます。

★日頃からお世話になっているジャパンハート様のsnsからの呼びかけに早めに着手出来て本当に良かったです。被災地からの確かな情報をキャッチしてから、即決、即行動が求められている中で、うまく対応出来たことは、人と人の繋がりと、信頼関係で成り立っていることを改めて教えていただいた、貴重な機会となりました。

また、ジャパンハート様の今まで積み上げて来られたお蔭様と感じ、改めて感謝の念をいただきました。ありがとうございます。

この度の、コロナ禍で、気薄になりつつある人間関係の現状で、やはり人と人の繋がりが、大きな力になること、日頃からのコミニティーの形成こそが人助けへの歩みになることを実感致しました。微力ではありますが、被災された方々の心に想いが届きましたら幸いです。